

R4でできることを明らかに 全老健・大河内理事が講演

レゾナの出展セミナーでは、「R4システム(ICFステージング)」をテーマに、全国老人保健施設協会(全老健)の大河内二郎常務理事が講演した。

R4システムとは、全老健が開発したケアマネジメント方式。アセスメントの1つに、ICF(国際生活機能分類)を基にし



た、高齢者の心身の状態を測るための「ICFステージング」を採用している。

大河内氏は在宅復帰を進めるには、「できることを明らかにし、そのために環境調整を行う」やり方に変える必要があると強調した。

また、ステージングの「余暇」「コミュニケーション」は「在宅へ帰るとよくなる」ことから、在宅強化型の報酬算定のためではなく、利用者のために在宅復帰を目指すべきと強調した。

全老健はR4システムのテキストを改訂。15日からの全国大会で販売開始する。

記憶や判断力と違い、思いやりや感動といった「情動機能」は認知症になっても保たれていることに着目した医師とともに、それを評価する検査マニュアルと感情に働きかける療法を開発。デモンストレーションも大好評だったそう。tree



「アイスイッチ」は、あらかじめ登録してある写真と瞳の位置が同じ場合に動作する。特別な訓練は不要だ。ALSで寝たぎりの母親をもつエンジニアが開発した。TVリモコンの操作も目標。参考出品。エンファシス



手先の不自由な人でもなめらかに絵や字が書けるようになる「ペンサポート」。今年、横浜で行われた世界作業療法士会で、「アメージング」と大絶賛されたという。実は、片手で使える洗濯ばさみの流用。200円。

IMAGECLIFT



現場のヘルパーの「こんなバッグが欲しい」の声にとことん応えて完成。様々なサイズのポケットがありながらシンプルなデザイン。防水加工だから雨の日はもちろん、濡れた物を入れても安心だ。4530円。caps

口腔ケア用の「オーラルピース」は、水と植物原料のみでつくられた、誤飲や誤嚥しても安全な製品。合成成分は使っていないのに殺菌力もある。障害者の仕事創出のため就労施設と連携して小売販売を展開している。ジェルとスプレータイプ、各1千円。トライフ

本物の猫の声で鳴く「なでなでねこちゃん」。3千円でもお釣りがくる価格で会場でも大人気。写真右の白猫は今年度川崎市の補助で開発中のペットロボット。廉価な癒しが目標。製造はトレンドマスタ



接地面積が業界最小サイズの「コンパクトサイドケイン」。会場では、ベッドサイドの立ち上がり用手すりとして大きくPRしていた。コピーは「無かった便利、持ち運びできる」。1万8千円。幸和製作所

